

JSCA 賞 新人賞 小林 直樹

# 埼玉工業大学ものづくり研究センター



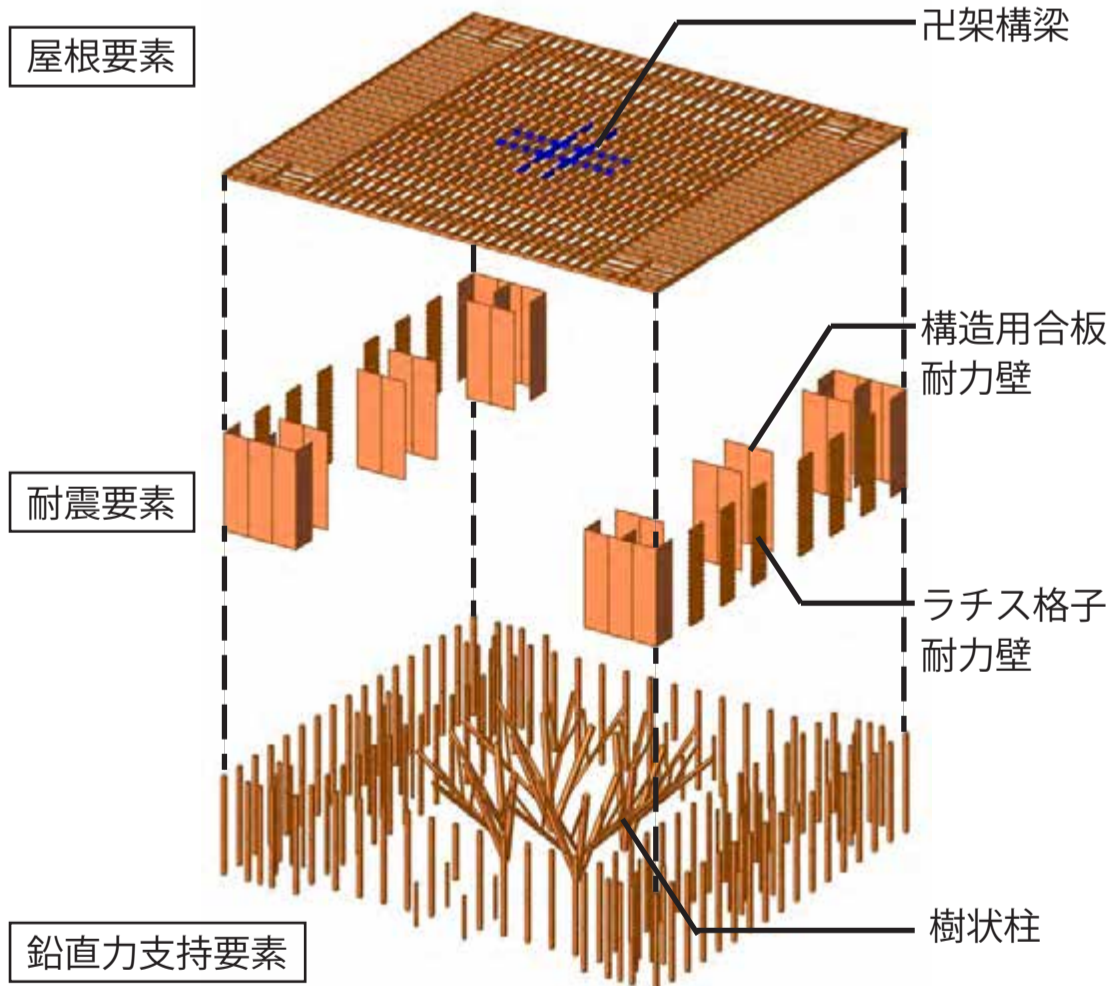
ワークスペースの樹状柱は互いに支合いながら大屋根を支える

## 【大樹に学生の集うラーニングcommons】

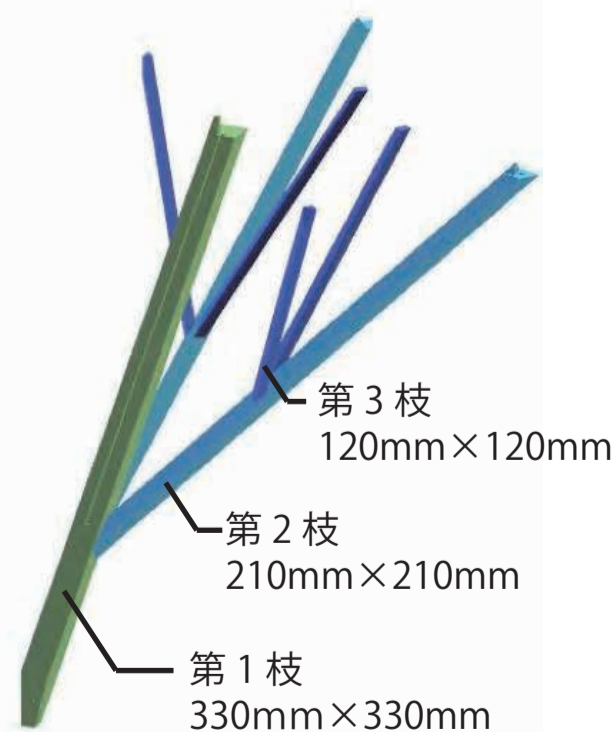
埼玉工業大学ものづくり研究センターは、新しく生まれ変わる大学のシンボルとなり、学生・職員の集う新たな場となるラーニングcommonsである。「森の中の大樹に人が集まる」というデザインコンセプトを樹木のような形態の構造体（樹状柱）、配架構梁、ラチス格子耐力壁などで表現した木造建築である。

樹状柱は中央の展示スペースを囲うように配置し、株立ちの大樹のように見せることで展示スペースの中心性を高めるとともに、4つのゾーンに分かれたワークスペースを緩やかにゾーニングする役割も担っている。

## 【構造システム】



## 【在来軸組構法の仕口を応用した樹状柱】



樹状柱は、幾何学的な形状操作により全ての枝が幹となる角材の面に平面接合となるように接続させている。平面接合とすることで、全ての接合部で嵌合接合を採用しており、木材の受圧のみで枝から枝へ応力伝達し、金物を使用しないシンプルなディテールを実現している。

## 【建築概要】

所在地：埼玉県深谷市普濟寺 1690  
建築主：学校法人 智香寺学園  
設計者：株式会社 松田平田設計  
施工会社：竹並建設 株式会社  
建物規模：地上1階  
延床面積：981.44m<sup>2</sup>  
最高高さ：7.905m  
主要用途：大学（ラーニングcommons）  
構造：木造

撮影：日暮雄一



樹状柱が浮かび上がる夜の外観



自然光をが差し込み様々な表情を生み出す



嵌合接合による樹状柱の接合部



ゼミスペース 正面の構造用合板耐力壁と右面のラチス格子耐力壁



小径のヒノキ材を組合わせたラチス格子耐力壁